

開会・主催あいさつ

みなさま、こんにちは。大阪府の府民文化部長をしております大江と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は大変お寒い中、また大変お忙しい中、このようにたくさんの方にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

本日は「統合型リゾート（IR）について考えるシンポジウム」にご参加いただきまして本当にありがとうございます。IRに関しましては、大阪府ではこれまでから大阪に立地した場合の効果、影響やその対策等について、各界の専門家の方々からご意見を賜りながら検討を進めてきたところでございます。

昨年12月5日に、これはちょっと長い法律の名前ですが「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案」ということで、いわゆるIR推進法案が国会に提出をされました。現在開会中の国会におきまして議論がなされておりまして、早ければ、今国会の会期中にも成立するのではないかというふうに言われております。

今回の法案提出を受けまして、昨年末に大阪府と大阪市が一体となって準備に取り組むため、松井知事をトップとする「大阪府市立地準備会議」を立ち上げました。大阪市は本日ご出席でございます井上経済戦略局長をトップに、また府は私の方が中心となりまして取組みを進めていきます。

その一環として、府民のみなさまにIRというものに関してより理解を深めていただきたいと考えまして、本日のシンポジウムを開催させていただいたという次第でございます。

本日のシンポジウムでは、大阪府市特別顧問の橋爪先生、大阪商業大学アミューズメント産業研究所長の美原先生、京都大学こころの未来研究センター教授の船橋先生、また株式会社博報堂の栗田様、皆様大変ご造詣の深い方々でございますがお迎えいたしまして、これまでの府市での取組み、また海外のIR事情、依存症研究などについてご紹介いただきまして、皆様にIRについて一緒に考えていただくきっかけとしていきたいと思っております。

本日は講師の方々からのお話の後、皆様方からのご質問をお受けするお時間も設けております。せっかくの機会でございますので、ぜひお気軽にご質問・ご意見など頂戴できればと思っております

どうぞ最後までよろしく申し上げます。本日は本当にありがとうございます。